

【断層型地震】

●岡山県周辺の活断層



県内に被害をもたらす地震は、南海トラフ巨大地震だけではなく、南海トラフ巨大地震で強い揺れが見込まれなかった県北部地域などでも、大きな被害をもたらす可能性がある断層型地震のリスクがあります。(熊本地震も発生確率が低いと認識されていました。)

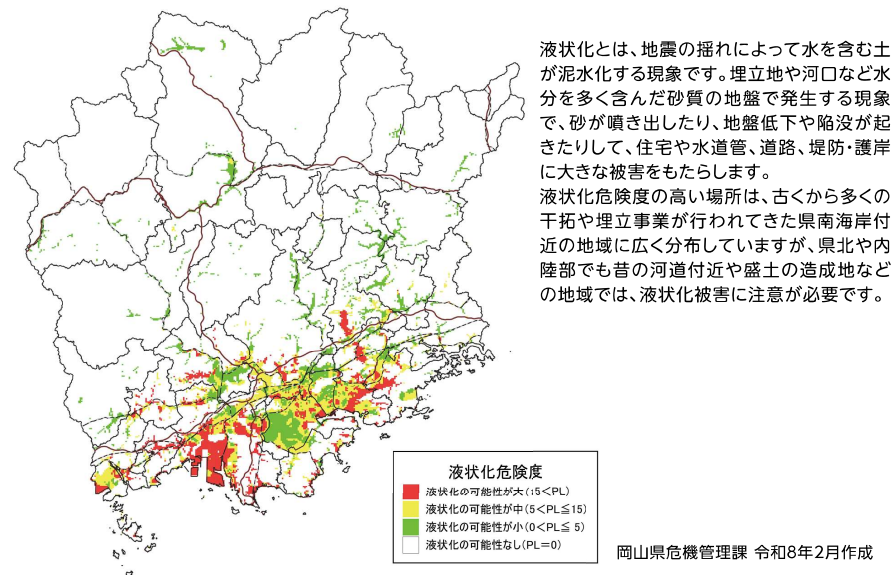
岡山県では、県周辺の活断層を震源とする地震のうち、県内で震度6弱以上の強い揺れが発生し、大きな被害が生じるおそれのある7つの地震について、被害想定を行っています。(令和8年2月公表)

●断層型地震の想定被害

断層名	マグニチュード	県内最大震度	主な市町村	建物全壊(棟)	死者数(人)	最大避難者(人)
長者ヶ原-芳井断層	7.3	6強	倉敷市・笠岡市	872	6	11,666
山崎断層帯	8.0	6強	美作市・奈義町	849	23	10,367
大立断層・田代峠-布江断層	7.3	6強	真庭市・鏡野町	33	2	697
那岐山断層帯	7.3	6強	津山市・鏡野町・奈義町	96	5	1,716
倉吉南方の推定断層	7.3	6強	真庭市	3	0	79
中央構造線断層帯(讃岐山脈南縁東部・西部)	8.3	6弱	岡山市・倉敷市・笠岡市	1,560	19	20,478
鳥取県西部地震	7.3	6強	新見市・真庭市	62	3	971

【液状化】

●南海トラフ巨大地震による岡山県の液状化分布図



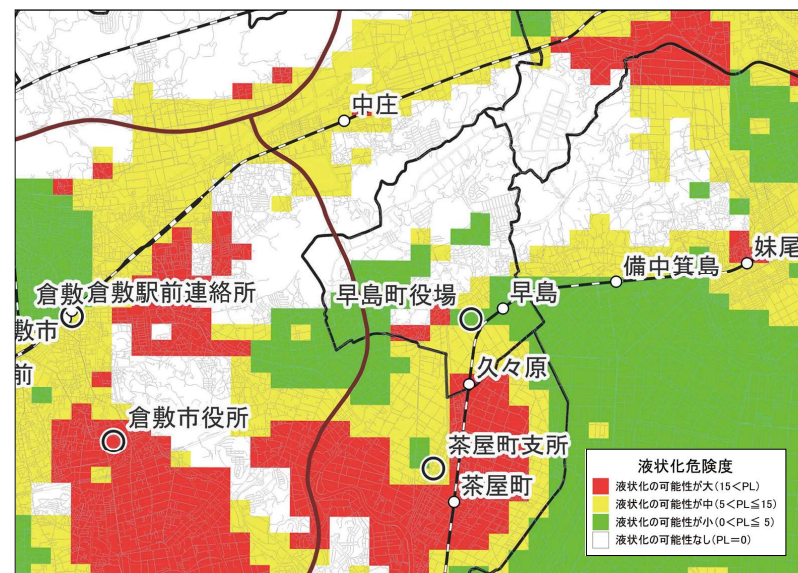
液状化とは、地震の揺れによって水を含む土が泥水化する現象です。埋立地や河口など水分を多く含んだ砂質の地盤で発生する現象で、砂が噴き出したり、地盤低下や陥没が起きたりして、住宅や水道管、道路、堤防・護岸に大きな被害をもたらします。

液状化危険度の高い場所は、古くから多くの干拓や埋立事業が行われてきた県南海岸付近の地域に広く分布していますが、県北や内陸部でも昔の河道付近や盛土の造成地などの地域では、液状化被害に注意が必要です。

岡山県危機管理課 令和8年2月作成

●南海トラフ巨大地震による早島町の液状化分布図

南海トラフ巨大地震が発生した場合、主に町南部の干拓地で液状化危険度が高くなっており、一部地域では液状化危険度は極めて高いとされています。



岡山県危機管理課 令和8年2月作成